



みたか環境ひろば

令和8年10月号 vol.97

みんな読んでね！



神田川の生き物を調べよう

ー ナマズジャクシに会えました ー

7月5日(日)朝からポツポツと雨、天気予報も一日雨。中止かな？と参加者もドキドキ。井の頭コミセンでは10年以上続くイベント。コロナ禍以外中止になったことはありません。そしてイベント開始と共に青空が！指導スタッフ、三鷹の森学園CSメンバー、近隣学校の先生、環境活動推進会議メンバーも含め50名以上が神田川のタヤけ橋周辺をタモ網でガサガサと生き物の捕獲をスタート。



実際に捕れたナマズジャクシ。
観察後は神田川に戻しました。
(水槽を真上から写したキャプション)

「ザリガニ！」「サカナ〜！」「小っちゃいエビ！」川のアチコチで子どもたちの歓声。外来種のザリガニは約100匹捕獲。小さなエビは全部外来のカワリヌマエビです。在来種はクロダハゼ、モツゴ、フナ、ドジョウの魚類を確認。15分毎に場所をかわりながら、石の下や草の根本などを懸命に搜索。やっぱり魚捕りは面白い。大人も子どもも夢中です。

「これなーに？オタマジャクシ？」「こっちにもいっぱいいるよ」みんながアミやバケツをのぞき込む。ちょっと見は確かに数えきれないほどのカエル？のオタマジャクシ、、、「これはナマズの赤ちゃんだ。」

指導スタッフも見たことあるのは一人だけ、「10年前に井の頭池に浅瀬があったころ一度だけ遭遇したことがある」。ナマズは毎年産卵するわけではない。井の頭池に産卵場所がなくなって神田川の浅瀬で産卵したようだ。実は2日後に同じ場所にナマズの赤ちゃんを探しに行ったのですが、もういませんでした。

青空とナマズジャクシが今回のイベントへの自然からのプレゼントでした。(福井)

出発前の様子



川で生き物を捕っている様子

★ 参加者の感想 ★

楽しく生き物の生態を学べた

神田川の生き物を
子どもたちが楽しく学べた

楽しかった、またやりたい

* 井の頭池でも生きものに会える「チョコットかいばり隊」というイベントを不定期で開催しています。
東京都建設局のホームページで確認・申し込みをしてください。

「小さな命の大冒険！」

夏の夜の妖精 ☆わくわくナイトウォッチング」

～セミの羽化観察会～

みたか環境活動推進会議・三鷹市の主催で8月8日(土)にセミの羽化観察会を井の頭公園で行い、私は講師(セミちゃん)を務めました。

まず、井の頭地区公会堂でセミが卵から生まれて成虫になるまでの生態を、自ら撮影した写真や動画を元にクイズ形式で学んでもらいました。更に、地球温暖化による異常気象で雨が降らないとセミが地上で卵から生まれることができないことや土の中の幼虫の生育にも影響があること、35℃を超えると成虫も鳴かなくなり弱ること等セミへの影響も伝えました。



★クイズの様子★(答えは②)

そして4班に分かれ井の頭公園に移動し自然観察指導員のガイドのもとセミの羽化観察！「あーいた！」地面を歩いたり、木に登っているセミの幼虫を発見したり、木の枝で羽化しているアブラゼミの姿にはみんなの目が釘付けに。木の幹で羽化を始めたミンミンゼミが最後の最後で落下したり、セミの幼虫が園路で踏まれて死んでいる姿も目撃し厳しい現実を知ってもらえました(※1)。他の生き物の観察も楽しみながら御殿山まで移動し、最後はロープ柵のロープや杭で羽化する多くのアブラゼミの姿を観察できました！子どもも大人もセミが羽化する神秘的な姿に驚き、感動しながら、無事に殻から体全体が出るまでをじっと見守りました。小学校の校歌を歌ってセミの羽化を応援してくれた子も！

夏の夜の公園では小さな命の大冒険が至るところで繰り広げられています。皆さんもぜひ公園等でセミの羽化(※2)を観察してみてください！(荻窪)

(※1) 夜7時～9時頃が多く幼虫が園路を歩いているので踏まないように気をつけましょう

(※2) 夜7時半頃～8時半頃がピークです。



羽化観察会の様子

★参加者の感想★

親子ともに素敵な体験となりました
ありがとうございました

環境問題がセミにも影響
してる事が知れてよかった

ガイドの方に詳しくセミや昆虫
植物について様々な知識を教えてもらった



羽化したてのアブラゼミ

次回の発行は
令和9年1月の予定です♪

お楽しみにね♪



発行：みたか環境活動推進会議(愛称 みんなの環境)

連絡先：三鷹市生活環境部環境政策課

電話：0422-29-9612(直)

E-mail：kankyo@city.mitaka.lg.jp

※ 本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。

